

一立 天童市議会だより

2011
5.1
No. 132
TENDO



待ちに待った春が来た。外遊びだ～い好きな山口児童館の元気な子どもたち72人。
お外はポカポカ気持ちいいよ。これから広いグラウンドでかけっこするぞ！

3 月定例会

一般質問…………… 2～5	討論・意見書の提出……………10
総括質疑…………… 6	提出議案と結果……………11
予算特別委員会…………… 8～9	市民の声……………12

がんばろう東北！ がんばろう日本！

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、3月3日・4日の2日間の日程で、10人の議員が行いました。

住宅リフォーム助成制度や土地区画整理事業などについて、市長等の見解を求めました。

住宅リフォーム助成制度

本市独自の制度を

新設しては



松田光也議員
経済情勢は
改善されず、
建設や建築業

界を取り巻く現状は厳しい状況である。市民の住生活の改善と地域経済の活性化に向けて、市民と市内の事業者が共助・共存できる補助制度にすべきと思う。限定された県のリフォーム制度にこだわらず、誰でも手軽にできるリフォーム助成制度を実施すべきではないか。

山本市長 本市では、これまで震災時に命を守るという観点から、住宅の耐震改修補助に取り組んできた。県では、平成23年度から「住宅リフォーム総合支援事業」が創設されることになった。本市でも少子・高齢化が進む中で、良質な住宅リフォームの推進は重要であると考え、県の支援事業に合わせて、住宅リフォーム工事に対する補助制



▲住宅リフォーム工事の例

度を創設する考えである。市独自の補助金の額は、県の基準と同様に一戸当たり工事費の10%で20万円を上限とすることを予定している。これにより県の補助金と合わせると一戸当たり工事費の20%で40万円の上限額を補助することになる。

また、施工業者の要件を市内に本店を有する法人、又は市内に住所を有する個人事業者に限定することで、市内経済の活性化に結びつけたい。

質問者と質問事項

(☆印は会派名)

★政和会

- 松田光也議員
 - *本市独自の住宅リフォーム助成制度の新設について
 - *公共工事の分離発注について
 - 結城義巳議員
 - *鉄ノ町土地区画整理事業について
 - *地方主権の実現へ向けて地方の果たすべき責務について
 - 後藤和信議員
 - *介護の充実について
 - 山崎諭議員
 - *農業振興策について
 - *西部地区の道路網の整備について
 - *雨水対策について
- 石垣昭一議員
 - *市民に喜ばれる住宅リフォーム

★民主天童クラブ

- 伊藤和子議員
 - *第5期介護保険事業計画策定に向けて
 - *鉄ノ町開発の現状と今後のすめ方について
 - *芸術・文化育成のために
- 狩野佳和議員
 - *天童市の小・中学校の安全対策について
 - *選挙の投票所について
- ★かがやき
 - 松田耕一議員
 - *行政改革について
 - *市政情報の公開について
 - *天童市の積雪対策について
 - 矢萩武昭議員
 - *市民サービスの向上と職員力及び組織力の向上について
 - 赤塚幸一郎議員
 - *自治会(町内会)組織の活性化について

平成22年度行政視察来市状況

	視察件数	視察人数
北海道	0	0
東北	4	28
関東	6	27
北陸	1	7
中部	7	39
近畿	3	20
中国	1	13
四国	1	10
九州	0	0
計	23	144

平成22年度傍聴者数(地区別) (延べ人数)

地区名	男	女	計
天童	106	34	140
成生	28	15	43
蔵増	2	0	2
寺津	4	1	5
津山	37	4	41
田麦野	1	0	1
山口	12	3	15
高掬	18	2	20
長岡	3	4	7
千布	2	3	5
荒谷	3	0	3
その他	9	2	11
計	225	68	293

観光拠点として

活かさないか



結城義巳議員
鯉ノ町保留地を公売したが、公衆浴場

市民が日ごろ練習している音楽や踊りなどの発表の場ではないか。

山本市長 公衆浴場の建設については、場所の選定、用地の取得等に係る協議・検討を重ねてきた。しかし、現時点で新たな公衆浴場の建設計画には至っていない。温泉街には「かまた荘」「ふれあい荘」

建設計画を断念したというところか。鯉ノ町の事業は、観光拠点としての開発であった。もっと人賑わう区域にするため、「めでためであつた花のやまがた観光圏」の拠点に、また、

また、野外ステージや多目的広場の利用者数は、昨年度に比べ約1000人増加している。特に、ジャズフェスティバルや大正琴愛好会などの音楽関係の利用が増えている。今後とも多くのイベントが開催されるよう市ホームページなどで積極的にPRし、利活用の促進を図っていきたい。

があるが、両施設とも建設後30年以上経過しており、当面は両施設の維持修繕工事を行い、快適に利用できるよう運営していきたい。

また、野外ステージや多目的広場の利用者数は、昨年度に比べ約1000人増加している。特に、ジャズフェスティバルや大正琴愛好会などの音楽関係の利用が増えている。今後とも多くのイベントが開催されるよう市ホームページなどで積極的にPRし、利活用の促進を図っていきたい。

倉津川の整備について



山崎 諭議員
川下の住民にとって洪水の恐ろしさは

断面が不足するのではないかとと思われるが、どのように考えているのか伺いたい。

山本市長 倉津川の改修整備については、交り江地域から下流部は一定の流量断面が確保され、築堤の整備は完了したと、県では認識している。今後は災害により破損した場合に改修を行っていくことと

常に頭から離れない。上流部での開発が進み、大雨が降るとすぐに倉津川の水かさが増して危険な状態になる頻度が増え、逆流して樋門を閉じる事態も多くなった。倉津川の

また、上流部の開発地域で発生した雨水の増加分は、その地域で処理する考えのもと、調整池の整備をはじめ、建築物への雨水浸透施設の設置などの方法で対応しており、新たな開発にしても同様であり、倉津川の流下能力は確保されていると認識している。また、洪水時に樋門を閉じることによる、内水被害への対策については、今後、天童土地改良区と検討していく考えである。

ロコモティブシンドロームの予防対策について



後藤和信議員
介護に陥る3つの要因は、脳卒中、認知

れている。本市では、通所型介護予防事業として、介護予防教室を開催し、身体・運動機能の維持や閉じこもり予防に努めている。さらに、老人クラブや「いきいきサロン」の健康教室では、介護予防の重要性や軽体操を指導し、日常生活の動作が維持できるように支援している。また、運動器疾患によるロコモティブシンドローム状態を予防するために、平成23年1月から、日本整形外科学会が推奨している体操を、福島県立医科大学の指導監修のもと実施している。

症、ロコモティブシンドロームである。現在メタボリックシンドロームの検診・予防対策は取り組んでいるが、ロコモティブシンドロームに対してはまだまだ進んでいない。現在の患者数の把握と今後の予防対策はどのように考えているのか。

（注）ロコモティブシンドロームは運動器機能低下症候群。骨や関節に障害が起り、寝たきりなど介護が必要になる危険性の高い状態になること。運動器とは、身体機能を担う筋・骨格・神経系の総称であり、筋肉、腱、靭帯、骨、関節、神経など、身体運動に関わる組織・器官の機能的連合をさす。日本整形外科学会が、平成19年に新たに提唱した。



▲介護予防事業で軽体操

（3）

市としてどう取り組むのか



石垣昭一議員
県は今年4月
から住宅リフォーム
総合

支援事業を立ち上げた。しかしリフォーム助成制度の適用になる工事は、政策的に推進を狙う耐震補強や省エネ化、バリアフリー化、県産木材使用のいずれかを含む要件を付

している。県の制度はどのような内容で市としてどう取り組むのか伺いたい。

山本市長 県の住宅リフォーム総合支援事業は、4要件を満たす工事のほか、一般的にリフォーム工事も対象となり、補助金の額は一戸当たり工事費の10%で20万円を上限とする額で、市町村を経由して交

付される。県の23年度の補助対象件数は6000戸を予定しており、景気・雇用対策として緊急的に実施するため、3力年の期間に限定して実施される。

本市は、県と同様の条件で、県の補助金に上乘せして同額を交付する考えであり、23年度予算に3500万円を計上している。住宅リフォーム補助金申請は、建築業者の書類作成や審査事務に要する負担の軽減を図るため、できるだけ簡素化したいと考えている。

使用料の軽減を 図るべきでないか



伊藤和子議員
昨年から受益者負担の原則
だと、

市民文化会館の使用料に冷暖房費や備品使用料も加わり、文化団体では負担が重くなり、今後の継続を危ぶむ声が聞かれる。芸術・文化振興のためにも文化団体の育成が求めら

れる。使用料の軽減を図る支援策を考えるべきでは。

山本市長 これまで免除されてきた市民文化会館等の会場使用料については、22年4月から冷暖房料を負担いただいている。この冷暖房料等の半額補助を行っていた経過措置は、22年度で終了し、23年度からは芸術文化団体の方々か

らも通常の冷暖房料等を負担いただくことになる。受益者負担の適正化の観点から、理解と協力をお願いしたい。

芸術文化の振興については、市民が豊かな心で潤いのある人生を送るための重要な施策であると認識している。今後とも芸術文化の育成には十分に配慮していきたい。



▲芸術文化の拠点市民文化会館

小・中学校の

安全対策について



狩野佳和議員
市内の小・中学校校舎の
耐震化率を早

急に100%にすべきと考える。また、一中の新築移転計画は予定通り26年度4月開校なのか。職員室は子ども安全に配慮し、屋外活動等の状況を管理できる配置で、教室は子どもの健康の為、通気性を配慮し、廊下の片側に配置すべきと考えるがどうか。

水戸部教育長 市内の小・中学校の22年度末の耐震化の状況は、一中を除いて対策が必要な49棟の建物のうち、40棟が耐震化済みとなり、耐震化率は81.6%である。小学校の建物の耐震化率は23年度末で100%となる見通しであり、中学校については24年度までに工事を実施し、これにより小・中学校全ての建物の耐震補強事業を完了させたいと考えている。

また、一中の新築移転事業については、23年度に建築実施設計、用地買収、敷地造成工事、付替え道路工事等を計画しており、24・25年度で建物の建築工事を行い、26年4月から新校舎の供用を開始する計画である。校舎の配置については、教職員から死角が生じないような設計が必要と考えており、教室の配置については、快適な環境を確保するため、十分な通気性を確保し、片側に教室を配置する計画である。



▲新築移転計画を予定している一中

意識改革の取り組みは

図られているか



松田耕一議員

市長の公約には職員意識改革に取り組

むとあるが、目的とする職員意識改革とその取り組み、成果はどうか。また民間企業の効率的な業務運営やコスト意識、顧客に対するサービス意識などを修得し職員の意識改

革を図るため、幹部職員を民間企業へ派遣して研修する制度を設けてはどうか。

山本市長 本市では、21年11月に策定した第六次天童市行政改革大綱で、能力・実績を重視した人事管理や人材育成の視点に立った人事評価制度を導入することを定め、22年度から試行を行っている。

人事評価制度の導入により、行政運営の担い手である職員の育成を推進し、組織の活性化を図るとともに、職員の意識改革と能力開発につなげている。今後もこの制度を活用しながら、満足度の高い、良質な行政サービスを提供していきたい。また民間企業への派遣研修は、21年度から新採用職員を対象に実施している。この研修は職員の意識改革を促進する重要な研修であり、引き続き研修受入企業等と協議しながら実施していきたい。

職員力を

高めるべきでないか



矢萩武昭議員

市長就任以来、マニフェ

ストの推進については一定の成果が見られたが、市民サービス・応対接遇には多くの課題がある。「職員力」「組織力」を高めるため、①適正な人事評価システムの導入、②先進都市・国

県との一層の人事交流を図るべきと考えるがどうか。

山本市長 第六次天童市行政改革大綱で人事評価制度の導入を定め、22年度に管理職を対象として、能力評価の試行を実施した。23年度には、一般職の全職員を対象として、制度の内容に関する研修会を実施したうえで、人事評価の

試行を継続する予定である。人事評価制度の導入により、公務効率の増進と市民サービスの向上につなげたい。また、人事交流については、22年度は山形県等に3人を派遣している。この派遣は、関係機関と情報の共有化を促進することにより、複雑化・多様化する行政課題に対して連携して対応することなどを目的としている。今後も、効率的な行政運営に資するための人事交流を促進し、組織全体の活性化につなげていきたい。

活性化を図るべきでないか



赤塚幸一郎議員

自治会組織は、現状では

関係を持たない任意団体となっている。自治会組織と嘱託区との統合を図り、その報酬相当分をその組織に交付して、市行政の末端を担当して頂き、地域でできる事は地域へ権限と財源を移譲して、組織の弱体化防止に努めるべきと考えるがどうか。

山本市長 本市の嘱託員制度は、各嘱託区から推薦された嘱託員と嘱託員補助員を、非



▲嘱託員が一堂に会する嘱託員会議

常勤特別職として委嘱しており、市報等の配布を通じた行政からの連絡、周知徹底などの業務の対価として、報酬を支給している。この制度が今のところ有効に機能しており、嘱託員が行っている業務を改めて自治会に委託しなくともいいのではないかと考えている。

また、地域分権については、各々の地域で暮らす市民が、地域内における共通の課題の解決や共通の利益の増進を図るため、自主的、自立的なまちづくりを行うことであると考えている。これは、各地域の組織である地域づくり委員会そのものの活動だと考えている。現在、すでに市立公民館単位に地域づくり委員会が組織され、その地域の環境や特性にあった活動をしており、これが地域の自治会まで広がるのが、地域分権の推進だと考えている。

総括質疑

3月7日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、日本共産党天童市議団の石垣昭一議員、伊藤和子議員、かがやきの村山俊雄議員が総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

◆議第82号地方自治法第96条第2項の規定に基づき議会の議決すべき事件を定める条例の設定について

村山俊雄議員
町山俊雄議員
市相互

定住自立圏構想の

メリットは

石垣議員 定住自立圏構想は中心市と周辺市町村が相互に連携・協力することで、圏域全体の活性化を図るとしている。山形市が中心市宣言を行ったが、圏域自治体の自立性はどうか担保されるのか。また、天童市にとってのメリットを伺いたい。

町で作業部会を開催し、本市にとってメリットがある事業について山形市と連携協定を結ぶことになる。

また、連携事業に不都合や不具合が生じた場合は、一方のみからの申出により協定を取り消すことができることになつていて、スケールメリットを最大限に生かしながら、本市の自立性は十分確保できると考えている。

また、連携事業に不都合や不具合が生じた場合は、一方のみからの申出により協定を取り消すことができることになつていて、スケールメリットを最大限に生かしながら、本市の自立性は十分確保できると考えている。

◆議第89号天童市下水道条例の一部改正について

下水道
使用料

引き上げ後の

一般会計繰入金金は

伊藤(和)議員 使用料を総務

省が示す基準に引き上げ、一

般会計からの基準外繰入金金を

なくしていくとのことだが、

建設部長 中期的には、一般

下水道事業財政計画を見ても

会計からの基準外繰入金金をな

今後増える見通しである。基

準外繰入金をなくすことがで

料の改定は、市民生活に大きな影響を及ぼす恐れがある中で、下水道事業への地方公営企業法の適用、下水道課と水道事業所との組織統合などにより、歳出面の一層の削減にも取り組みながら、今後も定期的な見直しを続けて、中期的に基準外繰入金をなくすことを目指していきたい。

◆議第83号天童市部設置条例の一部改正について

健康福祉
部設置

行財政改革に

逆行しないのか

村山議員 市民部を健康福祉

部と市民部に分割して、部を

一つ増やすというのは、行財

政改革に逆行するのではない

か。また、今回の組織改変に

当たっては、市民部のみなら

ず全庁内の見直しによるスク

ラップ・アンド・ビルドが徹

底されたのかを伺いたい。

総務部長 現在の市民部は、

平成5年度に4課体制でス

タートし、その後、介護保険

制度の導入や文化スポーツ課

の移管などがあつた。今後、

少子高齢化が本格化するなか、

市民ニーズへの対応や意思決

定を迅速に行うとともに、き

め細かな行政サービスを行う

ために見直すものである。

スクラップ・アンド・ビル

ドについては、平成22年度に

観光物産課と商工振興課の統

合。平成23年度末に牧野公社

の解散、平成24年度に水道・

下水道の統合など行政運営の

コスト削減を進めている。

監査委員の選任に同意

現監査委員の奥山吉行氏(交り江)が、平成23年3月31日をもって任期満了になることから、再び同氏を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の滝口順一氏(泉町)が、平成23年3月13日をもって任期満了になることから、同氏を再び選任することに同意しました。

東根市外二市一町共立衛生処理組合

(クリーンピア) 議会

2月22日、東根市議会議場で、東根市外二市一町共立衛生処理組合議会が開かれ、平成23年度予算など2議案の審議が行われ、採択の結果、異議なく可決されました。

事業基本方針

ゴミの排出量は16年度から7年連続で減少している。リサイクルセンターにおいては、「プラスチック製容器包装類」の処理を開始し、今後とも、循環型社会の構築を目指し、ゴミの減量化、再資源化に取り組んでいく。

し尿処理については、下水道の普及により年々減少していることから、より効率的な収集体制を検討する。

また、24年度から「し尿等の下水道投入」に向け、施設造成工事を実施し、安全で効率的な施設管理体制を図る。

最終処分場においては、周辺環境に悪影響を与えることに継続して取り組む。

また、24年度から「し尿等の下水道投入」に向け、施設造成工事を実施し、安全で効率的な施設管理体制を図る。

資源の有効活用や「ゴミゼロ」に向けた啓発について構成市町及び関係機関・団体とともに

の不正分別や減量化を進めていくためには、住民の協力と理解が不可欠であり、

資源の有効活用や「ゴミゼロ」に向けた啓発について構成市町及び関係機関・団体とともに

平成23年度組合会計予算

歳入

款	本年度予算額 千円	摘要
1 分担金及び負担金	876,550	各市町からの負担金、償還交付税
2 使用料及び手数料	707,655	し尿処理・ゴミ処理手数料等
3 財産収入	13,662	有価物売却代等
4 繰入金	177,369	施設整備基金繰入金
5 繰越金	30,000	
6 諸収入	21,107	リサイクルセンター電気料等
7 組合債	531,600	一般廃棄物処理事業債
歳入合計	2,357,943	

歳出

款	本年度予算額 千円	摘要
1 議会費	1,585	
2 総務費	285,802	職員給与費、財産管理費、手数料徴収費等
3 事業費	1,843,894	し尿収集・処理費、ゴミ収集・処理費
4 公債費	220,662	
5 予備費	6,000	
歳出合計	2,357,943	

平成23年度各市町負担金額

市町名	予算額(単位:千円)		比較	
	H23年度	H22年度	前年比(千円)	増減率
天童市	306,686	328,307	△21,621	△6.59%
東根市	247,287	249,680	△2,393	△1.96%
村山市	128,539	131,405	△2,866	△2.18%
河北町	112,418	113,220	△802	△0.71%
合計	794,930	822,612	△27,682	△3.37%

議会のうとぎ

- 1月
 - 28日 天童・寒河江両市議会議員懇談会
- 2月
 - 3日 後期高齢者医療広域連合議会全協及び定例会
 - 4日 市長要請経済建設常任委員会(留山川ダム周辺環境整備について)
 - 7日 全国市議会議長会 国会対策委員会 正副委員長会議
 - 9日 各派代表者会
市長要請総務教育委員会(第六次天童市行財政改革大綱の見直し案について)
 - 15日 市長要請全員協議会(予算内示)
 - 16日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院の経営状況について)
 - 21日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会運営委員会
議会運営委員会
各派代表者会
 - 22日 東根市外二市一町共立衛生処理組合 全員協議会、第1回定例会
 - 28日 第9回市議会定例会
広報委員会
- 3月
 - 1~22日 第9回市議会定例会
 - 4日 各派代表者会
 - 18日 議会運営委員会
 - 15日 広報委員会
 - 22日 第7回市議会臨時会
 - 24日 広報委員会
 - 27日 市長要請環境福祉常任委員会(デマンド型乗合タクシーについて)
- 4月
 - 6日 広報委員会
 - 13日 議会運営委員会
各派代表者会
市長要請総務教育常任委員会
 - 20日 広報委員会
 - 22日 議会運営委員会
第1回市議会臨時会

議長・副議長が被災者を激励

3月17日に議長及び副議長が、議会を代表して東日本大震災に伴う天童市内の避難所(スポーツセンター・総合福祉センター)を訪問し、被災者の激励を行いました。

議員から義援金

3月24日に議長が、被災した交流都市の宮城県多賀城市を激励に訪問し、全議員からの義援金を贈りました。

同じく交流都市である茨

城県土浦市にも全議員からの義援金を贈りました。

政務調査費の取扱に関する要領を制定

市政に関する調査・研究に資する経費の一部として、政務調査費が議員一人当たり月額1万3000円が会派に対し交付されています。市議会では、今回、政務調査費の適正な執行を図るために、支出できるもの、できないものを具体的に規定した要領を制定しました。今後必要領に基づいて適正に執行します。

予算特別委員会

平成23年度一般会計予算

前年度比5.4%増

200億3000万円



予算特別委員会での審査

平成23年度一般会計予算は、前年度比5.4%増の200億3000万円の予算案となりました。そのほか、国民健康保険などの特別会計、市民病院などの企業会計を含めた市全体の当初予算総額387億2672万9000円の予算案が提案されました。

予算議案12件は、予算特別委員会に付託・審査されたあと、本会議において原案のとおり可決しました。

省エネ法対応の業務委託

委員 省エネ法対応業務委託料474万4000円についての委託先と具体的な内容について。

省エネ法対応の業務委託

基本設計実施協議会負担金437万3000円の内容と負担割合について。

消防課長 28年6月から消防救急無線がアナログからデジタルへの移行にともない、基本設計について費用の軽減化を図るため実施協議会を立ち上げ、県域一括で行う。県内各地の電波伝搬調査・基本設計を行い、認められれば国の有利な起債が受けられる。予算総額9527万4000円で、本市の負担は437万3000円である。

学習机を新JIS規格に

委員 新JIS規格対応の学習機の整備を年次計画で進めるが、計画内容は。

教育総務課長 学習机は新JIS規格で縦横5センチ大き

くなった。22年度から25年度まで小規模校の低学年から順次更新する。

小・中学校の耐震工事の進捗及び市有施設の耐震化計画は

委員 小・中学校の耐震工事を進めてきたが進捗状況は。

教育総務課長 小学校は23年度で耐震工事が完了する。中学校は二中、三中の耐震工事が24年度で完了。一中の改築は23年度に盛土整地工事と実施設計をし、24・25年度の2年間で建設工事をして26年4月に開校する予定。

委員 市有施設（小・中学校以外）の耐震化計画は。

建設課長 23年度に9施設の耐震診断を計画しており、主だった耐震診断が終了することになる。改修計画は、その後特定建築物となる市庁舎や避難所となる建物、さらに、耐震性能の評価の低い施設を優先する形で決定したい。



▲新JIS規格の机(右)と現在の机

市民保養施設ゆびあの管理運営に関する経費

委員 市民保養施設整備工事費2億8000万円の内容は。

生活環境課長 ゆびあのリニューアルに関する経費で外壁改修、浴室内補修を行う。省エネ対策として天井が高いためシーリングファンの取り付け、大小休憩所に個別エアコンを取り付ける。また誘客対策として、温度差のある2種類の源泉の風呂、洗い場の増設やサウナの拡張、マッサージコーナーの設置を行う。実施設計を8月ころまで完了し、2カ月ほど休館し工事を行い、年内にリニューアルオープンしたい。

芸術文化鑑賞事業及び明治大学スポーツ交流

委員 芸術文化鑑賞事業、明

治大学スポーツ交流公開講座の内容は。

文化スポーツ課長 8月7日(日)にNHKのご自慢を誘致開催する。

また、明治大学連携協力協定による事業で、スポーツ交流を行う。内容はこれから調整するが、今年度は野球の交流を行いたい。夏ごろにできるだけたくさんの方が参加していただける事業を行いたい。

デマンド型

交通システム

委員 デマンド型交通に要する経費1511万円の内容と広報活動は。

生活環境課長 4月1日から山口、田麦野地区で自宅からのデマンド型交通になる。予算は年間利用者数や運行日数、台数と人件費等を推計し換算した。分館単位での説明会や各種団体への説明を行った。また市報などでも広報している。

米づくり支援

委員 天童強い米づくり支援事業費補助金の具体的な内容

は。

農林課長 米価の下落などに対応できる天童産米の産地間競争力の強い特別栽培米や有機栽培米をつくる農家に対して10ヶ当たり30000円の支援を行うものである。

結い農プロジェクト

委員 結い農プロジェクト新規就農支援事業費補助金とはどんな内容なのか。

農林課長 新規に農業を始める担い手の方に対して農業機械の導入などに補助を行い、初期投資の負担の軽減を図るものである。また経営移譲等の意向についてのアンケートの調査などを実施し、ハードとソフト両面からの支援を検討していきたい。

天童温泉100周年

委員 天童温泉100周年記念事業費補助金の具体的な内容は。

商工観光課長 ①温泉、イベント、歌や踊りなど100年の記念DVDの作成②市内の観光施設までの街歩きのため距離を表示した観光案内板

を40カ所設置③100周年記念碑を舞鶴山に設置④高山虚子親子句碑の建立である。

下水道管理センターの解体撤去計画

委員 下水道管理センターの解体計画は。

下水道課長 今年度から3カ年計画で着手する予定である。総額2億8000万円の事業費を見込んでいる。高危険度建物の解体撤去から始め、管理棟は最終年度を予定している。今年度は設計業務委託料を含め9965万円を計上している。



▲解体撤去予定の下水道管理センター

住宅リフォーム

総合支援事業費補助金

委員 住宅リフォーム助成制度の内容は。

建設課長 県の同制度新設に伴い、当市でも同じ内容で上乗せして補助しようとするものである。具体的には、工事費用の10%、20万円を上限として補助するものであり、200万円の工事費用の場合、県と市から各20万円、計40万円の補助となる。ただし、部分補強、省エネ化、バリアフリー化、県産木材使用の4要件のうち、いずれか一つを含む工事を基準点以上に行う必要がある。これらの要件や工事ごとの基準点等制度の詳細

については、市報・市のホームページに掲載し周知を図りたい。申請受付は5月中旬から1カ月を予定している。

芳賀地区の

新駅調査委託

委員 新駅基本計画調査業務委託料850万円の内容は。

都市計画課長 芳賀土地区画整理事業地内の新駅設置について、現況測量、ホーム、上屋、待合室などの基本計画を策定し、その上で設置費用・維持管理費用等を算出して採算性・費用負担等を考える際の精度の高い資料を得るための調査で、委託先は、JR東日本東北工事事務所である。

平成23年度予算のあらまし

会計名	予算額(千円)	対前年度比(%)
一般会計	20,030,000	5.4
特別会計	13,807,058	0.4
国民健康保険	6,178,953	1.9
用地買収	2,917	19.1
財産区	1,748	5.2
都市計画公共	2,437,405	3.9
下水道事業		
ノ町土地	82,397	△68.9
区画整理事業		
介護保険	3,658,757	0.7
市民墓地	2,100	11.5
後期高齢者医療	530,971	1.2
工業団地整備事業	911,810	1.0
企業会計	4,889,671	18.6
水道事業	3,113,708	31.7
病院事業	1,775,963	1.1
総合計	38,726,729	5.0

◆主な事業 (単位:千円)
 ◎中学3年生までの医療費完全無料化 313,931
 ◎市民保養施設リニューアル事業 312,563
 ◎結い農プロジェクト 2,293
 ◎住宅リフォーム総合支援 35,000
 ◎一中改築事業 149,968

平成22年度第9回市議会定例会（3月定例会）は、2月28日から3月22日までの23日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案2件、人事議案2件、契約議案1件及び補正予算議案11件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成23年度一般会計予算を始めとする予算議案12件及び条例議案等9件については、予算特別委員会又は所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。

また、議員提出議案3件の採決も行われました。結果は左記のとおりです。（意見書は10ページ、請願審査結果は12ページに掲載しています。）

審議日程

月 日	内 容
2. 28	本会議（会期の決定、施政方針・提案理由の説明、予算議案の概要説明、特別委員会の設置など）
3. 3 3. 4	本会議（市政に対する一般質問）
3. 7	本会議（一般議案に対する総括質疑、議案・請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査）
3. 8	環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
3. 9	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
3. 10 ～14	予算特別委員会（付託案件の審査〈質疑〉）
3. 15	予算特別委員会（討論・表決）
3. 22	本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）

討 論

3月22日の本会議で討論がありました。

▼議第59号天童市一般会計予算Ⅱ賛成多数で可決

《反 対》

芳賀土地区画整理事業地内に計画している子育て支援施設の整備は、わくわくランドに大型遊具が設置されており、屋外遊具と屋内施設が併設されてこそ、その効果が期待できるものである。

都市施設整備費は、城山交流広場の整備、五日町中央線の道路整備、愛宕沼の整備費として2億3465万円を計上しているが、積算根拠がいまいであり事業の内容について説明不足である。

新駅基本計画調査業務委託料について、天童駅から2.27^{キロ}、高掬駅まで1.14^{キロ}の地点に駅が本来に必要なのか、新駅設置の是非について判断するための調査が必要と言っているが、これまでの調査費と合せて約1000万

円を越す経費は、無駄遣いになる可能性は否定できない。

《賛 成》

平成23年度予算の新規事業として、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の助成、天童最上川温泉「ゆぴあ」の大規模リニューアル事業、天童強い米作り支援事業、住宅リフォーム総合支援事業、舞鶴山周辺の天童古城地区整備事業、市立第一中学校改築事業に取り組みようとするものである。

財政運営について、指標となる「実質公債比率」が改善されるほか、地方債残高も3億9910万円の減となるなど、引き続き県内トップクラスの健全財政が堅持される見通しであることを高く評価するものである。

この度提案された平成23年度予算の適正な運営により、市民が「安全・安心・住んで良かった」と実感でき、市政に対する一層の信頼感が醸成され、市政の更なる発展が図られることを期待する。

意見書

脳脊髄液減少症の医療に関する意見書（抜粋）

国に対し、脳脊髄液減少症の医療に関して、次のことを強く求める。①治療の保険適用を認めること。②学校管理下での児童生徒に対する適切な対応マニュアルを共同で作成し通知すること。③ブラッドパッチ治療について一日も早く保険適用を行うこと。

（提出先は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣）

脳脊髄液減少症の診断及び治療が可能な医療機関の公表に関する意見書（抜粋）

現在、県内で診断や治療ができること公表されている医療機関は1カ所しかありません。山形県に対し、県内で診断や治療ができるように県内医療機関の再調査を行って、公表医療機関を増やし、最新情報をホームページで公開するように強く求める。

（提出先は、山形県知事）

提出された議案とその結果

(市長提出議案)

議案番号	件名	結果
報第12号	平成22年度天童市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第13号	交通事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第59号	平成23年度天童市一般会計予算	原案可決(賛成多数)
議第60号	平成23年度天童市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第61号	平成23年度天童市用地買収特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第62号	平成23年度天童市財産区特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第63号	平成23年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第64号	平成23年度天童市鎌ノ町地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第65号	平成23年度天童市介護保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第66号	平成23年度天童市市民墓地特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第67号	平成23年度天童市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第68号	平成23年度天童市工業団地整備事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議第69号	平成23年度天童市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議第70号	平成23年度天童市民病院事業会計予算	原案可決(全会一致)
議第71号	平成22年度天童市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(賛成多数)
議第72号	平成22年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議第73号	平成22年度天童市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第74号	平成22年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第75号	平成22年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議第76号	平成22年度天童市鎌ノ町地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第77号	平成22年度天童市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議第78号	平成22年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第79号	平成22年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議第80号	平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議第81号	平成22年度天童市民病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全会一致)
議第82号	地方自治法第96条第2項の規定に基づき議会の議決すべき事件を定める条例の設定について ※定住自立圏形成協定の締結等について、議会の議決すべき事件として定めるもの。	原案可決(全会一致)

議案番号	件名	結果
議第83号	天童市部設置条例の一部改正について ※市民サービスの一層の向上及び効率的な行政運営を図るため、健康福祉部を設置するとともに市民部の分掌事務を整理するもの。	原案可決(全会一致)
議第84号	天童市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正について ※育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の一部改正に伴い、特別休暇について所要の改正を行うもの。	原案可決(全会一致)
議第85号	天童市特別会計条例の一部改正について ※平成21年度をもって廃止した交通災害共済事業の共済見舞金の請求期間が終了することに伴い、交通災害共済事業特別会計を廃止するもの。	原案可決(全会一致)
議第86号	天童市国民健康保険条例の一部改正について ※暫定的に行っている出産一時金の支給額39万円を恒久化するとともに、児童福祉法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。	原案可決(全会一致)
議第87号	天童市交通災害共済基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について ※平成21年度をもって廃止した交通災害共済事業の共済見舞金の請求期間が終了することに伴い、交通災害共済基金を廃止するもの。	原案可決(全会一致)
議第88号	天童市交通安全基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について ※交通災害共済基金の廃止に伴い、当該基金の資金を交通安全に関する事業に活用するため、新たな基金を設置するもの。	原案可決(全会一致)
議第89号	天童市下水道条例の一部改正について ※下水道使用料金の改定を行うとともに、下水道法施行令の一部改正に伴う所要の改正を行うもの。	原案可決(全会一致)
議第90号	天童市国土利用計画について ※本市の区域における国土の利用に関して、平成32年を目標年次とした新たな国土利用計画を定めるもの。	原案可決(賛成多数)
議第91号	市道天童高原線道路改良工事請負契約の一部変更について	原案可決(全会一致)
議第92号	天童市監査委員の選任について	同意
議第93号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第94号	平成22年度天童市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(全会一致)
議第95号	平成22年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)
議第96号	平成22年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決(全会一致)

(議員提出議案)

議案番号	件名	結果
議案案第8号	脳脊髄液減少症の医療に関する意見書の提出について	原案可決(全会一致)
議案案第9号	脳脊髄液減少症の診断及び治療が可能な医療機関の公表に関する意見書の提出について	原案可決(全会一致)
議案案第10号	天童市議会委員会条例の一部改正について	原案可決(全会一致)

市民の声

主人の転勤先の天童に「終の棲家」を求めて東京から移住して早十七年。自然に恵まれ、災害や犯罪も少なく、そして何より人情に篤く、とても住み易い町だと気に入っています。

また、天童は近隣都市に比べ公民館が利用しやすく、趣味や健康づくりのサークル活動なども活発で、私もその幾つかに加入して楽しんでいきます。その為か日ごろ市政に対してほとんど無関心な私でしたが、私の加入している文化団体の活動の場である市民文化会館の使用料が一部有料化された事に何となく不公平感を持つていました。

今回この件に関する一般質問がなされると聞き、初めて議会を傍聴させていただきました。申すまでもなく市議会は市長、議員さんが市の発展や活性化、住民の安心・安

市議会を傍聴して 中田よし江(東長岡)

全を守る等々の為に大局的思考から真剣に議論が交わされる場であり、いやしくも世間に伝えられているような質問も答弁も概ね筋書き通りの言わば「出来レース」でないことを願っていました。

この有料化に関する市議の質問に対しての市長の回答は、市の財政健全化、他施設との兼ね合いから無理であるとのことであり、ある程度納得できましたが、活き活き社会の構築、医療介護の観点等からもう少し議論の余地があるのではないかと思いました。

今回、議会を傍聴してその場の雰囲気や議員さんの動静なども感じられ、多少は市政を理解し、参加したような気持ちになりました。

最近、市議会の模様はインターネットで視聴できるようになったようですが、更に双方向性のあるものと広く民意が市政に反映されるか良いのではないのでしょうか。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は5件で、所管常任委員会
で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
「所得税法56条の廃止を求める」意見書提出について	山形民主商工会婦人部 天童支部 五十嵐章江	教育総務	不採択
県道23号と荒原線を結ぶ市道の拡幅整備に関する請願	奈良沢部落会区長 今田 富雄 ほか	経済建設	継続審議
2011年度山形県「住宅リフォーム助成制度」に関し、使い勝手の良い制度を求める意見書の提出を求める請願書	県の住宅リフォーム助成制度を良くする連絡会代表事務局 団体山形県商工団体連合会 会長 遠藤 強	経済建設	不採択
住宅の耐久性の向上・長寿命化につながる住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願	天童市住宅リフォーム制度の実現をすすめる会 会長 後藤弘司 ほか	経済建設	不採択
脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群・低脊髄圧症候群・外傷性頸部症候群・外傷性髄液漏れ等)の医療に関する請願書	脳脊髄液減少症友の会 代表 荒川ミキ子	環境福祉	採 択

6月定例議会の日程(予定)

- 6月6日(月) 開会
- 9日(木) 一般質問
- 10日(金) 一般質問
- 13日(月) 総括質疑・常任委員会
- 14日(火) 常任委員会
- 15日(水) 常任委員会
- 16日(木) 予算特別委員会
- 17日(金) 予算特別委員会
- 22日(水) 閉会

※請願の締め切りは、5月27日(金)正午までの予定です。
※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

● 戦後最大の大地震をもたらし、被災者は数に上る。被災された皆様には、被災されたことをご報告させていただきます。

● 1カ月経った今も、死者の数を上回る行方不明者がいて、家族を捜しまわっている方がいます。

● 加えて原発問題が日に日に深刻さを増し、解決の糸口も見えません。

● 災害の様子が報道される中で、議会と議員、市民として何ができるのかを考えさせられました。

● 審議の内容をわかりやすく伝えるよう努力したつもりです。ご意見・ご感想をお寄せください。

《広報委員会》

委員長	伊藤 和子
副委員長	後藤 和信
委員	松田 光也
委員	狩野 佳和
委員	村山 俊雄
委員	松田 耕一

発行 天童市議会 山形県天童市老野森一丁目1番1号 電話023(654)1111
編集 天童市議会広報委員会 印刷 大場印刷株式会社